

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産候補地再推薦に向けた 国際自然保護連合（IUCN）の専門家による非公式現地調査について

1. 概要

2020年夏の世界自然遺産登録を目指している「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」について、再推薦に向けてアドバイスを得ることを目的に、世界遺産委員会の諮問機関である国際自然保護連合（IUCN）の専門家を非公式に招聘し調査を実施したもの。

2. 目的

- 前回推薦に対する IUCN の評価書（2018 年 5 月。以下、「IUCN 評価書」という。）において、米軍北部訓練場返還地（以下、「返還地」という。）の評価ができていないとの指摘を受けたことを踏まえ、IUCN の専門家による返還地の調査を行い、IUCN 専門家の現地調査結果及びアドバイスを得ること。
- 意見交換等を通じ、IUCN 評価書の指摘事項への対応状況について IUCN 専門家からアドバイスを受け、必要な場合は追加的な措置（軽微な軌道修正を含む）を講じるための判断材料を得ること。
- これらにより、世界自然遺産登録をより確実なものとする。

3. 調査期間

2018 年 11 月 11 日（日）～14 日（水）

4. 調査地

主に沖縄島北部の北部訓練場返還地

5. 招聘した専門家

バスチャン・ベルツキー（Bastian BERTZKY）氏

IUCN 世界遺産科学アドバイザー

欧州委員会共同研究センター研究員

※前回の現地調査の際の専門家の一人。

※今回の招聘にはあくまで個人的なアドバイザーの立場で参画。

現地視察の様子



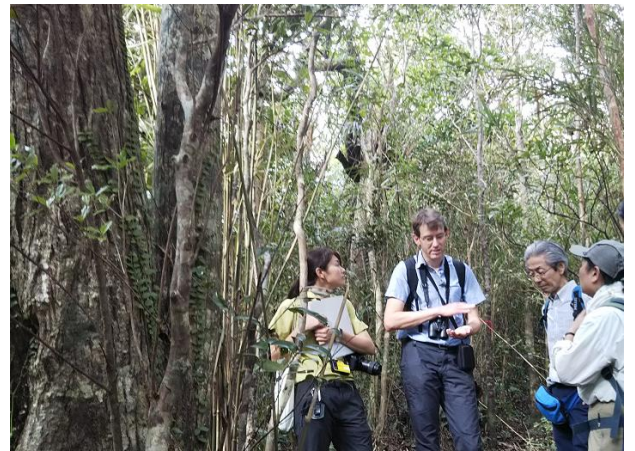
フェンチヂから北部訓練場返還地を遠望



地域と協力した外来種防除実施現場



北部訓練場返還地内の調査(森林内)



北部訓練場返還地内の調査(森林内)



北部訓練場返還地内の調査(溪流帯)



緩衝地帯の検討対象地の調査